



企画展

なか さる 五月中の申 御野馬追

令和6年(2024) 5/21(火) - 8/18(日)



展示会関連行事

1. 展示解説会 6月23日(日)
①10時00分～ ②13時30分～
2. 講座「野馬追の精神と藩政への影響について」
7月21日(日)13時30分～
講師: 二上裕嗣氏 (元福島県立医科大学非常勤講師)

【開館時間】午前9時～午後4時45分(最終入館は午後4時まで)
【休館日】毎週月曜日(ただし、5月27日、7月15日、8月12日は開館)
【観覧料】一般400円(350円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円)
()は20人以上の団体割引料金です
※南相馬市と飯館村に居住・通学する小中高校生は無料。
障がい者の方と付き添いの方1人、生活保護世帯の方は無料。入館の際に手帳等をご提示ください。
※8月17日(土)・18日(日)福島県民の日になんで無料。

南相馬市博物館

〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口194番地
TEL 0244-23-6421 FAX 0244-24-6933



博物館公式 WEB



「相馬野馬追大絵図」江戸時代 114 cm × 339 cm 内藤進氏蔵

現在の南相馬市原町区に広がっていた馬牧「野馬追原」で、騎馬武者たちが野馬を追う「野馬追」を中心に描いています。

現存する一枚物の野馬追絵図のなかでは最大の大きさで、杉の木を植えた土手に囲まれた野馬追原の全景をはじめ、「奥州海道」「一本杉」「夜の森」「桜井木戸」「カイ浜（萱浜）木戸」など、当時の野馬追に欠かせない場所が描かれています。



「奥州相馬妙見祭 其二 野馬追之図」
江戸時代後期 一立斎広重写 当館蔵

■「五月中の申」とは

野馬追は、当地方の民謡「相馬流れ山」の歌詞にも

〰五月中の申 御野馬追

と謡われているように、江戸時代は中村藩主相馬家の年中行事として、旧暦「五月中の申」の日を中心に3日間開催されていました。

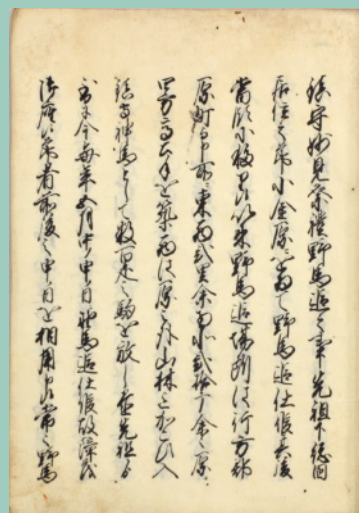
申（十二支の申）の日は1か月に2～3回ほどあり、「中の申」は2回目の申の日という意味です（1回目が「初」、2回目が「中」、3回目が「晩」）。つまり「五月中の申」は、「五月の2回目の申」の日をさします。

■ 野馬追日程の変遷をたどる

相馬地方の真夏の風物詩として、毎年7月に開催されてきた国重要無形民俗文化財「相馬野馬追」は、今年、令和6年（2024）から開催日程が5月最終土・日・月曜日に変更され、初夏の行事としてスタートを切り、新たな歴史を刻むことになりました。

明治時代の改暦にともない7月開催となっていた以降、野馬追の日程はこれまで何度か変更されてきましたが、今回の5月開催は2か月前倒しという、もっとも大きな変更となります。

展示では、これまでの野馬追の日程を中心に、その歴史をふり返ります。



「野馬追之記」

延享元年（1744）相馬家蔵



日程の変遷を示す相馬野馬追ポスター 当館蔵

左：昭和35年（1960） 中：昭和40年（1965） 右：昭和49年（1974）